

## 「設置計画履行状況報告書」作成に係る全体の注意事項

1. 本報告書は、設置計画について、認可又は届出時から完成年度までの履行状況を報告するための様式です。完成年度を超えてACの対象となっている場合は、別様式の「改善意見等対応状況報告書」にて報告してください。
2. 本報告書は、「設置区分」ごとに作成してください。
  - ※「設置区分」とは、設置時の「基本計画書」の「計画の区分」（「学部の設置」、「学部の学科の設置」等）に記載した区分のことです。
  - ※「大学設置」や「学部の設置」等で、AC対象学科等が複数ある場合、表紙は1枚のみ作成し、対象学科等の報告書を学科等ごとに順次添付してください。
  - ※同一「設置区分」の中に、完成年度中の学科等と完成年度を超えてAC対象となっている学科等がある場合（学部設置で修業年限の異なる複数の学科を設置した場合や、研究科設置で修士課程と博士課程を同時に設置した場合等は、報告書の種別に（「設置区分」の中で「設置計画履行状況報告書」と「改善意見等対応状況報告書」に分けて）作成してください。
3. 本報告書の全ての項目は、報告書提出年度の5月1日現在で作成してください。
4. 様式中の項目にある注意事項は削除せず、記載したままにしてください。  
（エクセルファイルのコメント機能で記載している注意事項等は提出時には削除してください。）
5. 全ページ通しページを付すとともに、表紙の次に目次を入れてください。
6. 表紙にインデックス（大学名称を記載したもの）を付すとともに、目次を含めて項目ごとにインデックス（番号のみ）を添付してください。
7. 本報告は、A4サイズ縦型、両面印刷、左とじ、左側2穴空けとしてください。  
（背表紙などは不要です。）
8. 「4. 既設大学等の状況」及び「7. その他全般的事項」を除き、昨年度以前に報告した箇所は黒字で残し、本年度に変更する箇所は赤字・見え消し修正して記載してください。
9. 該当がない項目については様式を削除せず、「該当なし」と記載の上、インデックスも貼付してください。
10. 必ず報告年度用の様式を使用して作成してください。なお、報告書の様式は文部科学省ホームページ※に掲載していますので、ダウンロードしてください。  
※文部科学省ホームページ＞教育＞大学・大学院，専門教育＞大学の設置認可制度＞各種手続き＞設置計画履行状況報告書等の様式等  
([http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/ninka/1303157.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ninka/1303157.htm))
11. 教職大学院については、別様式の「補足説明資料」も作成してください。

### （要注意）

提出いただいた報告書により書面調査を実施し、実地・面接調査の実施の有無を決定しますので、本報告書は「認可申請書」や「設置届出書」と同様に、正確に記すようにお願いします。

なお、本報告書提出後、数値等に誤りがあっても原則差し替えは認めません。提出前に今一度、誤りがないかを確認してください。

【昨年度からの主な様式変更箇所】

- ① 完成年度を超えてACの対象となっている場合に提出が必要な「改善意見等対応状況報告書」の様式を本報告書とは別に設けた。
- ② 「1 調査対象大学等の概要等」の「(5) ②調査対象学部等の入学者の状況」について、「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」欄を削除した。
- ③ 「5 教員組織の状況」の「(2) 専任教員数」について、「現在(報告書提出時)の状況」の項目を新たに設けた。  
また、年齢構成については、「前年度の状況」欄を削除した。
- ④ 「5 教員組織の状況」の「(3) 専任教員辞任等の理由」について、記入する一覧を「就任辞退」と「辞任」に分け、新たに後任補充の状況を記入する項目を設けた。

注3

大学番号：私196

[平成28年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

認可

金沢星稜大学 人文学部

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人稲置学園  
平成28年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 大学事務局

職名・氏名 フクキョクチョウ 副局長 ナガクボ 長久保 ミノル 実

電話番号 076-253-3904

（夜間） 090-1958-9965

F A X 076-253-3995

e-mail nagakubo@seiryu.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学新設の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

人文学部

<国際文化学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	11
6. 留意事項等に対する履行状況等	19
7. その他全般的事項	21
8. 添付資料	23

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人稲置学園

## (2) 大学名

金沢星稜大学

## (3) 大学の位置

〒920-8620  
石川県金沢市御所町丑10番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イナオキ シンヤ) 稲置 慎也 (平成28年4月就任)		
学長	(ミヤザキ マサフミ) 宮崎 正史 (平成26年4月就任)		
学部長	(カワムラ ヨシハル) 川村 義治 (平成28年4月就任)		
学科長	(オカモト ヨシカズ) 岡本 芳和 (平成28年4月就任)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人文学部 国際文化学科 学士(人文学)	4年	75人	- 年次人	300人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	75 - -		( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	0.48倍	
志願者数	329 - -	- - -	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	327 - -	- - -	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	101 - -	- - -	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
B 入学者数	36 - -	- - -	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	0.48									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- 36	-	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
4年次	/				[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
計			- 36	-	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	36 人	0 人	平成28年度	人	人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		0 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		0 %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		0 %
合 計	36 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他



## 2 授業科目の概要

<人文学部 国際文化学科>

### (1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手				
教 養 科 目	ゼミナール 基礎ゼミナール	1前	2			1	1 3					兼2 兼5	履修希望者がいなかったために5ゼミ未開講(28)	
	英語系	Conversation Skills I	1①②③④		2			1						
		Phrase and Expression Training I	1①②③④		2		1							
		International Testing I	1①②③④		2			1					兼1	
		Reading Skills I	1①②③④		2									
		Writing Skills I	1①②③④		2		1							
		Conversation Skills II	1①②③④		2			1 0						履修希望者がいなかったために1クラス未開講(28)
		Phrase and Expression Training II	1①②③④		2		1	1						
		International Testing II	1①②③④		2			1					兼1	
		Reading Skills II	1①②③④		2									
		Writing Skills II	1①②③④		2		1							
		Conversation Skills III	1①②③④		2								兼1	
		Phrase and Expression Training III	1①②③④		2								兼1	
		International Testing III	1①②③④		2								兼1	
		Reading Skills III	1①②③④		2		1						兼1	
		Writing Skills III	1①②③④		2		1						兼1	
		Conversation Skills IV	1②③④ +1②③④		2								兼1	履修希望者がいなかったために未開講(28)
	Phrase and Expression Training IV	+1②③④ 1②③④		2								兼1	履修希望者がいなかったために未開講(28)	
	International Testing IV	+1②③④ 1②③④		2								兼1	履修希望者がいなかったために未開講(28)	
	Reading Skills IV	+1②③④ 1②③④		2								兼1	履修希望者がいなかったために未開講(28)	
	Writing Skills IV	+1②③④		2								兼1	履修希望者がいなかったために未開講(28)	
	人文系	哲学/Philosophy	1①②②		2								兼1	
		英米文学/English and American Literature	1①②④		2								兼1	
		宗教学/Religious Studies	1①②④		2			3					兼3	オムニバス
		文化人類学/Cultural Anthropology	1①②④		2								兼3	
		人文地理学/Human Geography	1①②④		2								兼1	
		異文化コミュニケーション論/Intercultural Communication	1②②③		2		1							
		日本文学	1②④		2								兼2	
		歴史学	1②④		2								兼2	
		心理学	1②④		2								兼1	
		論理学/Logic	1②②③		2								兼1	
	倫理学/Ethics	1③②④		2								兼1		
	社会系	経済学/Economics	1①②③ 1①④		2								兼1	時間割調整により変更(28)
		日本国憲法	+1①③		2								兼1	
		社会調査論	1①③		2								兼1	
		観光論入門/Tourism	1②②④		2								兼1	
法学		1②		2								兼1		
政治学		1③		2								兼1		
経営学		1③		2								兼1		
社会学		1④		2								兼1		
コミュニケーション概論	1④		2								兼1			
自然系	基礎数学	1①		2								兼1		
	情報リテラシー	1①③		2								兼1		
	情報学	1②④		2								兼1		
	統計学	1③		2								兼2	オムニバス・共同(一部)	
	自然科学概論	1③		2								兼1		
	環境学	1④ 1②		2								兼1	時間割調整により変更(28)	
自然地理学	+1④		2								兼1			
スポーツ系	健康科学演習	1②		2								兼1		
	スポーツ科学演習	1③		2								兼1		
	健康・スポーツ科学概論	1④		2								兼1		
	教養科目合計(51科目)	-	2	100	0	5	3	0	0	0	兼27			





(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						
4						
5						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{\phantom{000}}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	金沢星稜大学女子短期大学部(必要面積3,000㎡)と共用 【借地面積】 【校舎敷地】 借用地積：4,573㎡ 平成26年5月1日より 借入期間：30年 借用地積：1,359㎡ 平成27年1月1日より 借入期間：30年 借用地積：671㎡ 平成27年1月1日より 借入期間：22年 借用地積：330㎡ 平成27年1月1日より 借入期間：30年 【運動場用地】 借用地積：3,168㎡ 平成26年5月1日より 借入期間30年 借用地積：1,413㎡ 平成27年1月1日より 借入期間30年 【その他】 借用地積：4,959.83㎡ 平成27年4月1日より 借入期間2年 借用地積：303㎡ 平成26年4月1日より 借入期間2年 借地面積計 16,776.83㎡			
	校舎敷地	-㎡	35,001.00㎡	-㎡	35,001.00㎡				
	運動場用地	-㎡	34,312.79㎡	-㎡	34,312.79㎡				
	小 計	-㎡	69,313.79㎡	-㎡	69,313.79㎡				
	そ の 他	-㎡	6,599.83㎡	-㎡	6,599.83㎡				
合 計	-㎡	75,913.62㎡	-㎡	75,913.62㎡					
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	金沢星稜大学女子短期大学部(必要面積2,350㎡)と共用			
		3,584.50㎡	23,419.50㎡	2,003.20㎡	29,007.20㎡				
		( 3,584.50㎡)	( 23,419.50㎡)	( 2,003.20㎡)	( 29,007.20㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	38室	34室	7室	6室 (補助職員 1人)	- 室 (補助職員 -人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	人文学部 国際文化学科			12 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		【うち外国書】	【うち外国書】					【うち外国書】	点
		冊	種	種	点	点	点		
		人文学部	1,468 [181] (951 [128])	23 [15] ( 15 [15])	8 [8] ( 8 [8])	12 0	0 0	0 0	
計	1,468 [181] (951 [128])	23 [15] ( 15 [15])	8 [8] ( 8 [8])	12 0	0 0	0 0			
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数						
	1,912.07㎡	270	203,570						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
	4,974.44㎡	星稜スポーツセンター(剣道場・STUDIO・空手道場等を含む) テニスコート 6面							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	設備購入費：追加設置設備発生による変更があったため(28) 図書購入費：契約において当初見積内容に変更があったため(28) 図書費には、電子ジャーナルの整備費(運用3ヵ月含む)を含む。
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	5,489千円	2,367 2,750 千円	1,405千円	
	共同研究費等	208千円	208千円	設備購入費	60,770 21,434 千円	1,080千円	3,870千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,302千円	1,182千円	1,182千円	1,182千円	- 千円	- 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	金沢星稜大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
大学院 経営戦略研究科	2	10	-	20	修士(経済学・経営学)	0.7	平成14年度	石川県金沢市御所町丑10番地1	
経済学部									
経済学科	4	230	-	920	学士(経済)	1.19	昭和42年度	同上	
経営学科	4	150	-	600	学士(経営学)	1.14	平成16年度	同上	
人間科学部									
スポーツ学科	4	60	-	240	学士(人間科学)	1.23	平成19年度	同上	
こども学科	4	60	-	220	学士(人間科学)	1.15	平成19年度	同上	26年度入学定員増(20)
人文学部									
国際文化学科	4	75	-	75	学士(人文学)	0.48	平成28年度	同上	
大学の名称	金沢星稜大学女子短期大学部								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
経営実務科	2	150	-	300	短期大学士(経営)	1.03	昭和54年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<人文学部 国際文化学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (学部長)	カムラ ヨシハル 川村 義治 (62)	平成28年4月	Phrase and Expression Training I Phrase and Expression Training II English Teaching Methodology I ※ English Teaching Methodology II ※ English Teaching Methodology III ※ English Teaching Methodology IV ※ Cross-cultural Understanding Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis	専	教授 (学部長)	カムラ ヨシハル 川村 義治 (62)	平成28年4月	Phrase and Expression Training I Phrase and Expression Training II English Teaching Methodology I ※ English Teaching Methodology II ※ English Teaching Methodology III ※ English Teaching Methodology IV ※ Cross-cultural Understanding Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis 教職実践演習C(中・高)	27年11月教職課程認定申請時の指摘により、オムニバス授業に変更のため担当科目追加(28) 28年6月に変更書提出予定
専	教授	ピーターセン マーク フレデリック PETERSEN MARK FREDERIC (70)	平成29年4月	Reading Skills III Writing Skills III Practical English Grammar Academic Writing Thesis Writing						
専	教授	ササゲ トオ 榛 富雄 (69)	平成30年4月	Tourism Studies Tourism Policy Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis						
専	教授	ヤマダ(イノモト) カコ 山田(煎本) 孝子 (68)	平成28年4月	異文化コミュニケーション論 /Intercultural Communication 比較文化 Language and Culture Religion and Ecology						
専	教授	ロバートソン ジェームス アール ROBERSON JAMES EARL (60)	平成28年4月	基礎ゼミナール 日本社会と文化 Japanese Folk Culture Contemporary Japanese Culture Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis						
専	教授	オカモト ヨシカス 岡本 芳和 (42)	平成28年4月	Writing Skills I Writing Skills II English Linguistics Practice in English Linguistics English Teaching Methodology I ※ English Teaching Methodology II ※ English Teaching Methodology III ※ English Teaching Methodology IV ※ Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis						
専	准教授	オカ タツヤ 岡 達哉 (48)	平成30年4月	Hospitality Tourism Industry Tourism Management Tourism Information Tourism English I Tourism English II Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis						
専	准教授	タナカ フジミ 田中 富士美 (48)	平成28年4月	International Testing I International Testing II Debate Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis						
専	准教授	タカハシ ユウコ 高橋 優子 (47)	平成28年4月	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ 比較文化 Religion and Culture ※ Christianity and Culture Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis	専	講師	タノ エイ 栗野 萌 (34)	平成29年4月	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ 比較文化 Religion and Culture ※ Christianity and Culture Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis	平成27年10月 高橋優子准教授就任辞退(28) 27年12月教員審査済(28) 本人妊娠の為就任年月を29年4月に 変更(28)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	バイヤー アヒム ウェ Bayer Achim Uwe (45)	平成28年4月	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ 比較文化 Religion and Culture ※ Buddhism and Culture Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis						
専	准教授	オカワ ヒサシ 小河 久志 (42)	平成30年4月	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ Studies on Multicultural Symbiosis Religion and Culture ※ Islam and Culture Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis						
専	准教授	リンチ キヤビン リー LYNCH GAVIN LEIGH (39)	平成28年4月	Conversation Skills I Conversation Skills II Phrase and Expression Training II Major Study Seminar I Major Study Seminar II Graduation Thesis						
兼任	教授	サウ ユキエ 佐藤 幸江 (64)	平成30年4月	介護等体験(事前・事後の指導を含む)						
兼任	教授	幼 ケンイチ 高 賢一 (63)	平成29年4月	教育心理学(中等) 教育相談の理論と方法(中等)						
					兼任	教授	コノ トシヒロ 河野 俊寛 (58)	平成29年4月	教育心理学(中等)	27年11月教職課程認定申請時の指摘により、オムニバス方式に変更し担当者追加(28)
					兼任	講師	アサカワ アツシ 浅川 淳司 (31)	平成29年4月	教育心理学(中等)	
兼任	教授	ムライ マスオ 村井 万寿夫 (60)	平成29年4月	生徒・進路指導論(中等) 教育課程論(中等) 教育方法論(中等)						
兼任	教授	イダ ユキオ 池田 幸應 (59)	平成31年4月	教職実践演習C(中・高)						
兼任	教授	イワカ ケンスケ 岩岡 研典 (59)	平成28年4月	スポーツ科学演習						
兼任	教授	モヤス ヒロシ 本康 宏史 (58)	平成28年4月	歴史学 金沢文化演習						
兼任	教授	カワイ ショウジ 河合 正二 (57)	平成28年4月	日本国憲法 法学						
兼任	教授	イノウエ ヨシト 井上 好人 (56)	平成28年4月	社会学 教育学概論(中等) 教育社会学(中等) 特別活動の理論と方法(中等)	兼任	教授	イノウエ ヨシト 井上 好人 (56)	平成28年4月	社会学 教育学概論(中等) 教育社会学(中等) <del>特別活動の理論と方法(中等)</del>	
					兼任	教授	ムライ マスオ 村井 万寿夫 (60)	平成29年4月	特別活動の理論と方法(中等)	27年11月教職課程認定申請時において不可の為、担当者を変更しオムニバス方式に変更(28)
					兼任	講師	マモリ ヒデトシ 衛 英敏 (59)	平成30年4月	特別活動の理論と方法(中等)	
兼任	教授	ハバ ハジム 馬場 治 (56)	平成28年4月	日本文学						
兼任	教授	イノウエ アキヒロ 井上 明浩 (55)	平成29年4月	障害者教育						



設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	ツブ ケンイチ 辻 建一 (55)	平成28年4月	Reading Skills I Reading Skills II 英米文学/English and American Literature American Society and Culture						
兼任	教授	シミス カスヒサ 清水 和久 (53)	平成28年4月	教職入門(中等) 中等教育実習・事前事後の指導 中等教育実習 I 中等教育実習 II						
兼任	教授	ナカムラ アキ 中村 朱美 (53)	平成28年4月	日本文学						
兼任	教授	キシモト ヒデカズ 岸本 秀一 (51)	平成28年4月	経営学						
兼任	教授	ナカサカ マサオ 永坂 正夫 (48)	平成28年4月	自然科学概論 環境学						
兼任	教授	オクダ テツヒト 奥田 鉄人 (45)	平成28年4月	健康・スポーツ科学概論						
兼任	准教授	シヨマダル ナシル シヨマダル ナシル (59)	平成31年4月	International Development	兼任	教授	シヨマダル ナシル シヨマダル ナシル (59)	平成31年4月	International Development	平成28年4月 昇任により職名変更(28)
兼任	准教授	コイノ チヒロ 小磯 千尋 (58)	平成28年4月	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies 文化人類学/Cultural Anthropology ワールドトピックス Gender and Contemporary Society Food and Culture Clothing and Culture						
兼任	准教授	モリ ノブエ 森 延江 (54)	平成28年4月	Phrase and Expression Training III Phrase and Expression Training IV Translation Practice I Translation Practice II						
兼任	准教授	ササキ ケスナリ 佐々木 康成 (45)	平成28年4月	心理学 情報リテラシー 情報学						
兼任	講師	エダムラ ショウヘイ 枝村 祥平 (39)	平成28年4月	哲学/Philosophy 論理学/Logic 倫理学/Ethics						
兼任	講師	サイイ キコ 坂井 紀公子 (48)	平成30年4月	基礎ゼミナール 文化人類学/Cultural Anthropology 人文地理学/Human Geography African Society and Culture						
兼任	講師	サイイ キコ 坂井 紀公子 (46)	平成28年4月	人文地理学/Human Geography						
兼任	講師	カノウ カチヒロ 加藤 隆宏 (44)	平成30年4月	基礎ゼミナール Asian Society and Culture Hinduism and Culture Thought and Culture Global Issues						
兼任	講師	サノ ヒロシ 佐野 浩祥 (40)	平成30年4月	Leisure Studies Tourism Culture Practice Tourist Destinations and History Culture and Society in Tourism	兼任	准教授	サノ ヒロシ 佐野 浩祥 (40)	平成30年4月	Leisure Studies Tourism Culture Practice Tourist Destinations and History Culture and Society in Tourism	平成28年4月 昇任により職名変更(28)
兼任	講師	エニシ ケンゴ 小西 賢吾 (36)	平成28年4月	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies 文化人類学/Cultural Anthropology 社会調査論 ワールドトピックス Field Research Practice Noto Field Work Globalization and Local Culture Global Issues						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	カワシミ アツシ 川澄 厚志 (35)	平成28年4月	観光論入門/Tourism Tourism Practice Hospitality Practice Tourism and Regional Studies						
兼任	講師	イノ タカヤ 石野 卓也 (34)	平成28年4月	統計学 ※	兼任	准教授	イノ タカヤ 石野 卓也 (34)	平成28年4月	統計学 ※	平成28年4月 昇任により職名変更(28)
兼任	講師	カワモト サトシ 川本 智史 (36)	平成30年4月	基礎ゼミナール 宗教学/Religious Studies ※ Ethnic Minorities and Their Cultures Art and Culture Housing and Culture Global Issues						
兼任	講師	クラッスン マーシャル Klassen Marshall (34)	平成28年4月	Conversation Skills III Conversation Skills IV Writing Skills III Writing Skills IV						
兼任	講師	ハナダ シンイチ 花田 真一 (34)	平成28年4月	統計学 ※	兼任	准教授	ハナダ シンイチ 花田 真一 (34)	平成28年4月	統計学 ※	平成28年4月 昇任により職名変更(28)
兼任	助教	マルイ カズマサ 丸井 一誠 (34)	平成28年4月	健康科学演習						
兼任	助教	チョウ リン 張 琳 (30)	平成28年4月	経済学/Economics						
兼任	講師	コサカ オサム 小坂 修 (69)	平成30年4月	European Society and Culture						
兼任	講師	ハガ タモン 羽賀 多聞 (67)	平成28年4月	基礎数学						
兼任	講師	キムラ ハルヒコ 木村 春彦 (64)	平成28年4月	コミュニケーション概論						
兼任	講師	ホンダ ミノル 本田 実 (64)	平成29年4月	道徳教育の理論と方法(中等)						27年11月教職課程認定申請時の指摘により、担当者を追加しオムニバス方式に変更(28)
					兼任	講師	マツシ タリョウヘイ 松下 良平 (57)	平成29年4月	道徳教育の理論と方法(中等)	
兼任	講師	マルヤマ アツシ 丸山 敦 (62)	平成28年4月	歴史学						
兼任	准教授	ヨコ ナルミ 横野 成美 (57)	平成28年4月	International Testing III International Testing IV Interpretation Practice I Interpretation Practice II						
兼任	講師	イケナカ マサミ 池中 雅美 (55)	平成29年4月	Phonetics						
兼任	講師	リチャード ブライアン カーティス Richard Braian Curtis (55)	平成29年4月	Business English I Business English II						
兼任	講師	アオキ タツト 青木 賢人 (46)	平成28年4月	自然地理学						
兼任	講師	キムラ カチロ 木村 高宏 (42)	平成28年4月	政治学						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	サウ フコ 佐藤 福子 (42)	平成28年4月	Reading SkillsⅢ Reading SkillsⅣ						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
6	6	0	0	12	4	3	0	0	7	6	5	1	0	12
(4)	(4)	0	0	(8)						[ ]	[ Δ1 ]	[ 1 ]	[ ]	[ 0 ]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	2 名	4 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由							
1	准教授	高橋 優子	必修	基礎ゼミナール	①	他大学就任のため就任辞退（28）							
			選択	宗教学/Religious Studies ※	①								
			選択	比較文化	①								
			選択	Religion and Culture ※	①								
			選択	Christianity and Culture	①								
			必修	Major Study Seminar I	①								
			必修	Major Study Seminar II	①								
			必修	Graduation Thesis	①								
合計 (A)			後任補充状況の集計 (B)										
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
合計 (C)			後任補充状況の集計 (D)										
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)										
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」

後任者は辞退者が担当予定していた全授業科目を引き継ぎ担当することとなり、そのすべての授業科目について「可」の判定を受けて、シラバス及び時間割はそのまま引き継ぐことができ、それぞれ後任者の氏名を入れることができた。

「学生への周知方法」

入学者が少数のため未開講としたことにより周知の必要性がなくなった。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時  (平成28年4月)	<p><b>留意事項</b></p> <p>1. 学生の英語力に応じグレード別にクラス編成し、IELTS6.0点という到達目標を設定しているが、英語力の低い学生も含め全ての学生がこの到達目標を達成できるよう、以下の点について学習効果が最大限発揮できるよう留意し、必要であれば計画を修正すること。</p> <p>(1)「英語カステップアッププログラム(ESP)」について、グレード別の具体的な指導内容及びプログラムの全体像について整理し、学生に広く周知すること。</p> <p>(2) ESPによる履修を経ても次のグレードクラスへのステップアップが難しい場合にe-learning等学生が自学自習できる設備を整備し、正課外での学生の自発的な英語活用能力の向上を図るとしているが、これらの設備を導入するに当たり必要な機器やシステム等について十分に検討し、学生に広く周知すること。</p>	<p>(1)入学直後の1泊2日新入生研修では、「英語カステップアッププログラム(ESP)」に関する説明を行った。まず新入生に学習の心構えを説きESPの全体的な仕組みや各レベルの内容、学習の仕方を説明した。また、各々ター終了後には、毎回全学生を対象にガイダンスを開いて学習成果を振り返り、次の達成目標とその方法を確認する。さらに2年次の留学終了後にも同様のガイダンスを実施して学生の学習を継続的に支援していく。</p> <p>(2) 次のグレードへステップアップが難しい学生については、正規の授業内で解決できなかった問題に関しても各科目の担当教員が手厚く指導を行い、学生の学力向上を支援する。具体的には、教員が決められた時間帯にラーニングコモンズと呼ばれる学生ラウンジで待機して、学生の学習上の多様な問題に答えて助言及び指導をしていく。また、e-learningの施設(パソコンルーム)・設備(Wi-Fi環境)は校舎内に十分に準備されており、すべての学生が気軽に利用できる体制になっている。e-learningについては、校舎内のパソコンに語彙の学習ができるサイトやリスニングに役立つサイトがインストールされており、いつでも学習をサポートする環境にある。また、ベネッセコーポレーションAcademic English Training講座(1か月コース)を各学生に用意しており、留学直前に学習できるように準備している。</p>	<p>(1)次年度以降はESPに関する説明を学生便覧に記載する予定である。</p>

区分	留意事項等	履行状況	未履行事項についての実施計画
設置時 (平成28年4月)	(3) 次のグレードクラスへステップアップできなかった学生に対し、英語力の高い職員を配置して学習方法のアドバイス、サポートを行っているが、効果的な学習指導を行うためには単に指導者の学力だけでなく、指導する上で適切な教授法を身につけていることが必要と思われる。職員による学習指導で十分な英語活用能力の向上効果が得られるか検証し、必要に応じて教員による学習指導を行うことを検討すること。	(3) 次のグレードクラスへステップアップできなかった学生に対しては、職員ではなく各科目担当教員が学習内容や学習方法に関して継続的に指導していく。教員が時間を設定して当該学生を個別に指導し、学習内容の理解度、課題の進捗状況、学習方法の改善等に関して細かく指導する。必要ならば当該学生と関わる他の教員と連携をとって学習向上を支援していく。	
	<b>留意事項</b> 2. 完成年度前に、定年規定に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。		2. 任期満了後は、公募で退任者と同等の教育研究業績をもつ者の採用、または新学部及び既存学部の中堅・若手教員を人材育成して登用することを計画している。
	<b>その他意見</b> ○教養科目のうち英語で授業を行う科目が人文系社会系に偏っているが、学生が興味を持った分野の科目が幅広く英語で開講されていることが望ましいと考えられるので、検討すること。	○教養科目の興味が人文・社会系以外にある学生については、留学先大学の受講指導に際して本学の開講科目と同一又は同一とみなされる履修内容の人文・社会系以外の科目を優先して履習するように案内及び指導を実施する。	○配当年次が2年3クォーターからのため、左記状況で不十分な場合は、自然系科目を中心として担当教員が手配できる場合は英語での開講を再検討する。
	<b>その他意見</b> ○社会調査について取り扱う「社会調査論」が追加されたが、その内容は「調査法」そのものを学ばせる内容になっていないので、さらにフィールドワークの入門的位置付けとなるような演習や実習を取り扱うことが望ましい。	○フィールドワークに関する科目については、「社会調査論」を社会調査に関する概論的内容とし、「比較文化調査演習」を、調査法を実地で学ぶ入門的科目と位置づけている。これらの科目の内容を総合し、さらに発展させた科目が、より専門的なトピックを扱う「能登フィールド演習」と「金沢文化演習」であると位置づけている。	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）



## 7 その他全般的事項

<人文学部 国際文化学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>①入学者選抜の選抜方法 次に掲げるいずれかの英語資格等を保持している者を選抜対象とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ IELTS 4.0以上</li> <li>・ TOEIC 400点以上</li> <li>・ TOEFLiBT 40点以上、またはTOEFLPBT 435点以上</li> <li>・ GTEC for STUDENTS485点以上又はGTEC CBT700点以上</li> <li>・ 実用英語技能検定 2級以上</li> </ul> <p>②教職科目 教育心理学（中等）担当者 高 賢一 道徳教育の理論と方法（中等）担当者 本田 実 特別活動の理論と方法（中等） 井上 好人 教職実践演習C（中・高） 池田幸應</p> <p>③専門科目発展科目英語学系 English Teaching Methodology I～IV 担当者 川村 義治・岡本 芳和</p>	<p>①選抜対象者を広げるため、対象となる英語資格に以下を追加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ TEAP (R+L) 100点以上またはTEAP (R+L,W,S) 210点以上</li> </ul> <p>②教職課程認定申請における指摘に基づき担当者の変更及び追加をした。（別添「人文学部設置認可申請と教職過程認定申請の相違点对照表」参照）</p> <p>③教職課程認定申請における指摘に基づき授業内容と回数を変更した。（別添「人文学部設置認可申請と教職過程認定申請の相違点对照表」参照）</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）

及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制 開設初年度であり未実施</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p>	
<p>② 実施状況 開設初年度であり未実施</p> <p>a 実施内容</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p>	
<p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 現段階では授業開始より1か月であり授業評価アンケートを実施する時期ではないため未実施である。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 未実施のため現段階では公開情報は無い。例年は学内WEB上に公開し共用している。</p>	

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>開設初年度を迎え、設置の趣旨・目的を踏まえて遂行している。初年度の入学者については、募集定員75名に対して入学者36名となったが、志願者数は329名、志願倍率4.3倍、実質倍率3.0倍となっており当該学部への認知には成功していると考えられる。合否ラインについては、アドミッションポリシーの観点から早期留学に耐えられる英語力を基準として選抜しており、合格者101名と少なめになったことと併願先での合格により歩留まりが他学部と比べて低かったことが入学定員割れにつながった。次年度の募集活動においては、入学学生の現状報告などを高校側にしっかり伝えると同時に、更なる志願者の獲得を目指し留学希望者やグローバル志向を持った高校生の発掘に努める。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期 ・平成28年7月1日 公表予定</p> <p>b 公表方法 ・大学ホームページ上に公開予定（平成28年7月末を予定）</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>・平成25年3月に評価機関（財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受け、大学評価基準を満たしていると認定された。なお、次回の認証評価を受ける計画については現段階では未定である。</p>
---

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 ( 無 )</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成28年 6月 1日)</p>
---

人文学部設置認可申請と教職課程認定申請の相違点対照表

1 科目担当者及び担当時間数が変更となる科目

科目区分	科目名	担当者・専任等の区分		変更内容		
		設置申請	課程認定申請			
教職科目	教育心理学(中等)	高 賢一	高 賢一 (12回)	兼任 兼任	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 複数体制のオムニバス方式とし、12回は共同に変更</li> <li>・ 新たに兼任、兼任の教員を各1名追加し、3名体制</li> </ul>	
	道徳教育の理論と方法(中等)	本田 実	兼任	兼任	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 複数体制のオムニバス方式に変更</li> <li>・ 新たに兼任の教員を1名追加し、2名体制</li> </ul>	
	特別活動の理論と方法(中等)	井上 好人	兼任	兼任	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担当者を変更し、新たに兼任、兼任の教員を各1名追加し、</li> <li>・ 複数体制のオムニバス方式に変更</li> </ul>	
	教職実践演習C(中・高)	池田 幸應	兼任	池田 幸應 (15回)	兼任 兼任	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 複数体制の共同の授業に変更</li> <li>・ 新たに専任教員を1名追加し、2名体制</li> </ul>
	English Teaching Methodology I	川村 義治 (7回)	専任	川村 義治 (5回)	専任	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業内容と担当回数を変更</li> </ul>
	English Teaching Methodology II	岡本 芳和 (8回)	専任	岡本 芳和 (13回)	専任	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業内容と担当回数を変更</li> </ul>
専門科目 発展科目 英語学系	English Teaching Methodology III	川村 義治 (7回)	専任	川村 義治 (7回)	専任	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業内容と担当回数を変更</li> </ul>
	English Teaching Methodology IV	川村 義治 (9回)	専任	川村 義治 (5回)	専任	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業内容と担当回数を変更</li> </ul>
		岡本 芳和 (6回)	専任	岡本 芳和 (10回)	専任	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業内容と担当回数を変更</li> </ul>